

公民館と学校、地域と学校をつなげる取組

～ 地域の学校に公民館活動を生かす取組 ～

【防府市 国府中学校区】

地域の概要

国府中学校区は、市内東部・中央部・南部にかけて、牟礼南（全域）・勝間（全域）・松崎（一部を除く）の各3小学校を校区としています。校区内には住宅地域を中心として、南には工業地域があり、周防国衙、毛利邸、菅原道真の御旅所など数多くの史跡もあります。また、大型商業施設、病院等も多く、地域住民にとって過ごしやすい生活環境が整っています。

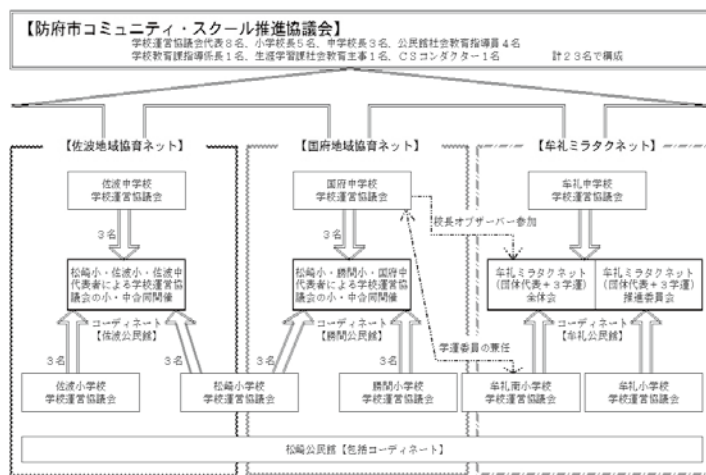
人口	18,794 人	
世帯数	8,850 世帯	
対象校及び児童生徒数	国府中学校	525 人
	牟礼南小学校	353 人
	勝間小学校	284 人
	松崎小学校	600 人

組織の内容

本年度「防府市コミュニティ・スクール推進協議会」が設置されました。この協議会の目的は、平成27年度からの3年間で各学校運営協議会を充実させ、「学校運営協議会の小・中合同開催」等により、防府市すべての小・中学校が「山口県のめざす学校づくり」に向けて取り組める「防府モデル」を構築・徹底させることです。

本年度は、牟礼中学校区、国府中学校区、佐波中学校区が「平成27年度防府市モデル中学校区」に指定されました。勝間小、松崎小、国府中の代表者による小・中合同学校運営協議会は、勝間公民館がコーディネートを担当し、年間3回開催します。学校運営・学校支援・地域貢献の観点から、モデル中学校区協働推進7項目について協議し、地域ぐるみで国府中学校区の子どもたちを支援していく環境づくりを進めていきます。

また、一つの小学校から複数の中学校に進学する小学校があるのが防府市の特徴であり、国府中学校区でもその状況が見られます。そのため、地域協育ネットを中学校区単位でまとめず、各地域の地域協育ネット間で連携がとれるようにしています（上図参照）。



平成27年度モデル中学校区組織図

特色・重点的な取組

今年度から、学校支援の観点で、公民館が中心となって「公民館と学校、地域と学校をつなげる取組」を推進しています。そのため、公民館と小・中学校が連携して、地域の学校に公民館活動を生かす取組を行っています。具体的には、公民館の講座やサークルの作品を勝間小美術館、国府中コミュニティルーム（CR）に展示することです。具体策実行に向けて、公民館長が展示関係講座やサークルの講師及びその講座・サークル生に、展示活動の趣旨を説明し、理解と協力が得られるよう努めました。また、小・中学校の校長先生をはじめ関係教職員と展示活動の準備や日程について打ち合わせを行いました。講座・サークルの方から、展示活動への賛同を得られた後、小・中学校へ下見に行きました。そのことで、講師や講座・サークル生と学校側双方の意思疎通が図られ、展示に向けての共通理解ができました。

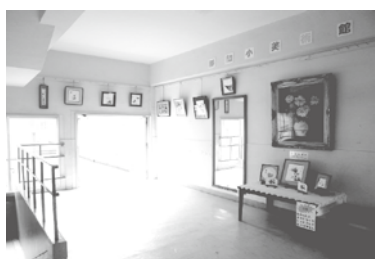
主な活動の紹介

< 勝間小美術館の開設 >

6月、公民館「ちぎり絵」講座の作品を今年度から開設した勝間小美術館に展示しました。9月は「押し花」講座の作品、11月には書道サークル「鳩の会」の作品を展示しました。展示前に、勝間小コミュニティルーム（CR）で自己紹介と打ち合わせを行ったり、展示後に、感想や気付きを気軽に話し合ったりしました。作品の鑑賞後に、児童の感想や礼状を校内や公民館に掲示し、講師や講座・サークル生に喜ばれました。

< 国府中コミュニティルーム（CR）の活用 >

国府中CRには、1階にある二つの空き教室をつないだスペースに応接セットと展示スペースがあります。作品展示のため、手作りの展示用ボードが10枚設置され、9月には「ちぎり絵」講座の作品をCRに展示しました。展示作業終了後、講座生は、全学年の授業参観をしました。また、11月には「押し花」講座の作品をCRに展示しました。



勝間小美術館 ちぎり絵



勝間小美術館 鳩の会



国府中CR 押し花

勝間小や国府中での展示作業は、講座やサークルの講師、講座・サークル生、校長先生をはじめ関係教職員、公民館職員が協力して行い、終始和やかな雰囲気の中で楽しい会話が飛び交っていました。

今回の取組は、講座・サークルの講師、講座・サークル生、小・中学校の理解と協力により実現しました。

成果と課題

- ・作品を鑑賞した子どもたちは、驚くとともに、大きな関心を寄せていました。保護者も土曜授業日等で来校した折に、作品を興味深く鑑賞していました。展示活動を通じて、講師や講座・サークル生は、自分たちの作品を幅広い年代・立場の方に見てもらおうことへの喜びと活動のPRにつながることを喜んでおられました。
- ・勝間小美術館や国府中コミュニティルームの活用を通して、学校と地域との交流の場につながる環境が整ってきました。
- ・展示作業終了後、子どもたちの学習活動を見学していただくことで、学校と地域との相互理解につながりました。今後、授業見学の機会を増やし、相互理解を深めていきたいと考えています。
- ・今年度の展示活動の取組を振り返り、「展示活動年間計画」を立てるようにしていきたいと思えます。

今後の取組

- ・講座やサークルの制作活動の会場として、学校のコミュニティルーム等を使用すること、講師や講座・サークル生の方を授業の特別講師として活用し、交流の広がりにつなげていく計画です。
- ・関係の講師や講座・サークル生が学校支援ボランティア活動保険に加入するようしていきます。
- ・この取組が継続・発展していくように、公民館と学校が見直しを図りながら連携して進めていきます。
- ・小・中合同学校運営協議会と各学校運営協議会が連携して、国府中学校区の子どもたちの「めざす15歳の姿」を描き、「国府中学校区地域協育ネット」の通称を設定していきます。